

## ■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月下旬  
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人及び  
特別口座の管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒540-8639  
大阪市中央区北浜4丁目5番33号  
TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

## ■ご案内

### ○単元未満株式をご所有の株主様へ

当社は、2013年8月に単元未満株式の買取・買増制度のご利用時にかかる手数料を廃止いたしました。単元未満株式(1,000株未満)は、市場での売却ができないだけでなく、株主総会での議決権行使ができないなど、一部の権利が制限されております。単元未満株式をご所有で、株式の売却、単元株式(1,000株)への買い増しなどを検討されている株主様は、これを機会にぜひご利用ください。

### 例1)800株をご所有の株主様

買取請求により800株を売却いただくか、200株を買い増していただくことで、(買増請求)1,000株にまとめることができます。

### 例2)1,800株をご所有の株主様

買取請求により800株のみ売却して残り1,000株を引き続き保有いただくか、200株を買い増していただくことで(買増請求)、所有株式数を2,000株にまとめることができます。

詳細なお手続につきましては、お取引のある証券会社又は三井住友信託銀行(下記)までお問い合わせください。

### ○事務のお取扱い(電話お問い合わせ・郵送物送付先)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
TEL:0120-782-031 (土・日・祝日を除く 9時~17時)

## 今回の表紙

坂出工場で建造中のLNG(液化天然ガス)運搬船にLNGタンクを搭載する様子を掲載しました。LNGタンクは直径約40m(10階建ビル相当)あり、搭載には巨大な門型クレーン2基を要します。このLNG運搬船にはタンク4基を搭載しますが、本船1隻で約25万世帯分の年間ガス使用量をまかなうことができます。



楽しく体験!陸・海・空のテクノロジーワールド

# カワサキワールド

Kawasaki GoodTimes World



## ものづくりシアターがリニューアル!

船舶や新幹線車両の製造工程を上映中の「ものづくりシアター」に、ボーイング787が加わる予定です。迫力のある映像がご覧いただけますので、ぜひお越しください。

所在地 〒650-0042 兵庫県神戸市中央区波止場町2番2号  
開館時間 10時~17時(入館は16時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌日に休館) 年末年始(12月29日から1月3日)  
お問い合わせ TEL:078-327-5401 FAX:078-327-5402  
<http://www.khi.co.jp/kawasakeworld/>

### ●飛行機で

「神戸空港」からタクシーで約20分

### ●新幹線で

「新神戸駅」からタクシーで約15分

### ●電車で

市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約10分  
JR・阪神「元町駅」から徒歩約15分  
神戸高速(阪急・山陽)「花隈駅」から徒歩約15分

### ●シティーブープで

「地下鉄三宮駅前(南行)」乗車約15分  
「中突堤(ポートタワー前)」下車徒歩1分

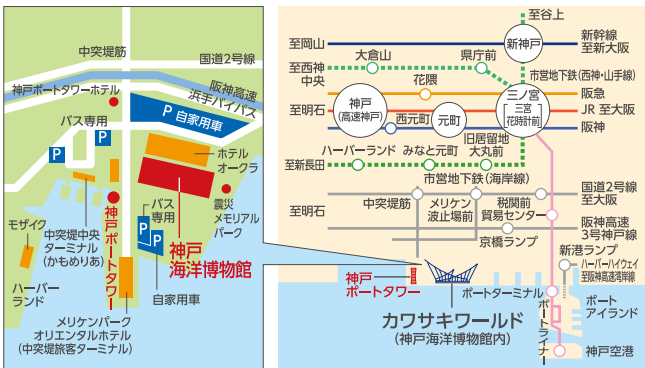
### ●車・タクシーで

JR・阪神・阪急「三宮駅」から約10分  
JR・阪神「元町駅」から約5分  
阪神高速道路「京橋ランプ」から約5分  
ハーバーハイウェイ「新港ランプ」から約5分  
※周辺には駐車場(有料)があります。

■神戸海洋博物館入館料 大人 600円 小人(小中学生) 250円

※入館料には、各種割引があります。※カワサキワールドの入場料は、神戸海洋博物館の入館料に含まれています。

## ■交通案内



川崎重工業株式会社  
TEL:078-371-9533(総務部株式担当)



この報告書は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。



この報告書は見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022337

# Business Report

第192期 第2四半期[累計]

平成26年4月1日→平成26年9月30日

[ Top message ]

株主の皆様へ

[ Works exploration ]

工場探訪

vol.6 坂出工場

現場のパワーに触れる旅

[ Factory tour ]

工場見学会のご案内  
(岐阜工場)



川崎重工業株式会社  
証券コード:7012

Kawasaki  
Powering your potential



# 株主の皆様へ

第192期の現状と今後の展望について



川崎重工グループは、米国経済の回復や円安傾向による良好な輸出環境の継続により、第192期第2四半期(累計)においては、前期に引き続き堅調な業績を確保しました。

そのような経営環境における当社グループの現状と今後の展望について村山社長に聞きました。

なお、第192期第2四半期(累計)の業績については、07ページ以下に記載のとおりであります。

—現在の経営環境についてどのように考えていますか。

米国経済の回復に伴う世界経済全体の緩やかな成長に加え、昨今の円安傾向も追い風となり、全般的には当社グループにとって良好な経営環境が継続しています。一方で、想定以上に個人消費の回復に時間を要している国内経済の先行きや、ユーロ圏や新興国における景気停滞懸念、米国の金融緩和縮小による影響、地政学的緊張の高まりなどには、今後も引き続き注視が必要と考えています。

—そのような経営環境が当社グループに与える影響と今後の見通しについて聞かせてください。

世界経済の成長に伴い、民間航空機・鉄道システム・各種プラントなどのインフラ分野において需要が活発化しています。当社グループでは、革新的・先進的な技術力を背景に、次世代大型旅客機(ボーイング777X)の開発・量産への参画決定に加え、アジア向け大型鉄道プロジェクト(シンガポール向け地下鉄車両)の受注や、天然ガスから高品質ガソリンを製造する世界最大のガス・ツアー・ガソリン製造設備(トルクメニスタン向けプラント)の内定など、着実に需要を取り込んでいます。

さらに、成長分野として市場の拡大が期待されるロボット事業においては、新興国市場の開拓による受注拡大

を狙うほか、医薬・医療用分野への参入に積極的に取り組むなど、将来の成長分野への投資を加速しています。

このようななか、当社グループの今年度業績は、売上高1兆5,100億円、営業利益770億円、経常利益720億円、当期純利益480億円と、いずれも過去最高となる見込みであり、「中計2013」の達成が、より現実的なものとなってくると考えています。

—「中計2013」を達成するための取り組みについて聞かせてください。

「中計2013」における最終年度の目標〔売上高:1兆6,000億円、営業利益:900億円、経常利益:850億円、ROIC(投下資本利益率)<sup>(※)</sup>11%〕達成に向け、グループ一丸となって“Kawasaki ROIC経営”を推進しています。

“Kawasaki ROIC経営”では、ビジネスユニットごとの資本効率向上に加え、今後成長が見込める分野への経営資源集中により、企業価値を向上させることを最大の目的とし、その実現に向けた5つのアクションを定めています。

今年度は、ROICによる業績管理を通じて明らかになった各ビジネスユニットの財務的課題や、コア・コンピタンス(競争優位性)強化のための課題解決に向けた戦略を策定し、各事業部門にて鋭意取り組むとともに、収益性・安定性・成長性を同時に実現する最適な事業ポートフォリオをさまざまな観点から検討してまいります。

また、将来の成長に向けた一定規模の設備投資や研究開発は継続する一方で、今年度も引き続き、有利子負債の削減に取り組んでまいります。2015年度末の目標値である4,000億円台を達成し、強固な財務体質を構築するとともに、将来の成長に向けた投資余力の確保に努めていきたいと考えています。

## [ Kawasaki ROIC経営 5つのアクション ]

1	BU単位のコア・コンピタンスの強化を通じた成長戦略の立案・実施
2	ROICを中心としたあるべき財務指標の設定と具体的な達成シナリオの策定
3	総合経営を活かしたシナジー効果の追求による新たな価値創造
4	Sub-BUや製品単位までブレイクダウンした縮小・撤退戦略の明確化
5	収益性・安定性・成長性を重視した事業ポートフォリオの構築

※BU:ビジネスユニット

—最後に株主の皆様へひと言お願いします。

当社グループは、事業の成果を株主の皆様をはじめ、お客様や従業員、取引先など多くのステークホルダーに還元することにより、いっそう多くの成果を生み出すといった好循環を維持・強化することで、企業価値の向上を図り、株主の皆様のご期待に応えることを目指しています。

今年度は、堅調な業績の推移を受け、16年ぶりの中間配当(3円)を実施し、年間としては計8円となる増配を予定しています。

また、当社グループでは、2018年度を目途に当社グループが目指すべき姿を「グループ経営モデル2018」としてまとめ、先月発表いたしました。本モデルでは、ROICを中心としたあるべき財務指標を定めるとともに、キャッシュフロー重視による投資余力の創出に向けた考え方を整理し、さらに事業分野ごとの成長戦略を明確にしています。なお、次期中計(2016年度～2018年度)においては、本モデルの具体的施策を検討していく予定です。

「中計2013」の達成はもちろんのこと、より高い成長を目指した本モデルの実現にグループ一同尽力してまいりますので、今後の当社グループにご期待いただくとともに、よりいっそうのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

むらやま しげる

取締役社長 村山 滋

※ROIC = (税引前当期純利益 + 支払利息) / 投下資本



## 工場探訪

vol. 6  
坂出工場

## 現場のパワーに触れる旅

坂出工場が操業を開始したのは1967(昭和42)年。世界的な経済成長と貿易の拡大に伴い、大型船舶の需要が高まるなかでのスタートでした。それ以来、アジア初のLNG(液化天然ガス)運搬船をはじめ、日本と世界の経済発展に欠かせない船舶を数多く建造してきました。今回は、当社のなかで最も歴史ある事業の、重要拠点のひとつである坂出工場をご紹介します。

## 船舶の大型化に対応し、世界最大級のドックを建設

川崎重工の事業は、旧社名「川崎造船所」のとおり、造船業を起源とします。現在は当社の船舶海洋事業として、100年以上にわたる豊かな経験と最先端の技術を活かし、高品質な船舶の建造を行っています。

坂出工場は、大型船舶の世界的な需要が高まるなか、当時としては東洋一の規模、世界最大級のドックを有し、かつ、生産設備を合理的に配置した造船所として誕生しました。アジア初のLNG運搬船「GOLAR SPIRIT」が竣工したのも本工場

であり、このほかにも、LPG(液化石油ガス)運搬船、大型の石油タンカー、コンテナ船など、時代のニーズにあわせて多種多様な大型船舶を建造してきました。



LNG運搬船「GOLAR SPIRIT」

## 新たな価値を生む重要拠点として、事業を支える

現在においては、海外との競争が激しくなるなか、当社の船舶海洋事業は、「GOOD戦略(ガス船/ガス燃料船(Gas:LNG・LPG)・海洋(Offshore)・海外(Overseas)・艦艇(Defense))」を核とした事業展開を目指しています。坂出工場は、艦艇を除く各分野の重要拠点として、LNG運搬船や水素運搬船など、高付加価値船の建造や省エネ・低環境負荷に対応する船舶の開発などのほか、海外事業(中国・ブラジル)のマザーファクトリーとしての役割を担っています。

今後とも、高付加価値船を中心とした船舶の建造に積極的に取り組むとともに、新たなクリーンエネルギーの普及に貢献する製品の開発に努めていきます。



水素運搬船(イメージ図)

## 【坂出工場】

香川県坂出市川崎町1番地  
工場敷地 911千㎡  
従業員数 967名(2014年9月現在)

## [主営業品目]

■一般商船・海洋機器



# 船づくり一世紀。 確かな技術で世界をつなぎ、時代を切り拓く

坂出工場は、1967年に第1船「紀乃川丸」(大型石油タンカー)を起工して以来、ばら積運搬船、コンテナ運搬船、自動車運搬船、LPG運搬船やLNG運搬船など、多種多様な大型船舶を建造してきました。

現代において、船舶の建造は「ブロック工法」(あらかじめいくつかの塊=ブロックにわけてドックの外で別々に組み立て、ドックに積み上げて溶接でつなぎあわせていく方法)が一般的で、巨大な機械設備と、熟練作業員の技術による繊細な作業がそれぞれ欠かせません。ドックで建造した船体は、進水後に岸壁へ移動し、航海に必要な設備を据え付ける艤装工事、海上試運転などを経て完成となります。ここでは、船ができるまでのおおまかな建造工程をご紹介します。

坂出工場  
船舶海洋カンパニー

## 部材加工



鋼板の切断・加工作業

船舶の材料となる鋼板は、専門の工場で切断・曲げといった加工を施し、これらを結合して徐々に大きな単位の部材などに組み立てます。LNG運搬船の場合、使用する鋼板の数は船殻(タンクや機器などを除いた骨格部分)だけで約7,000枚、重量で20,000トンを超えます。

## ブロック組立



船腹部分のブロック

組み立てた部材などをさらにつなげて、船体の部分ごとの「ブロック」を組み立てます。これらのブロックはドックの近くに運び、さらにいくつかのブロックをつなぎあわせて巨大なスーパーブロックに組み上げます。スーパーブロックの重量は、最大で約1,600トンになります。

## 艤装



岸壁で艤装中のLNG運搬船

ドックでの建造を終え進水した船舶は、岸壁に移動して、「艤装」と呼ばれる工事を行います。この工程では、船を走らせるための推進装置、安全な運行をするための操船装置や搭載する荷物の荷役装置などに必要な配管及び電気工事、乗組員の船内居住設備工事など最後の仕上げ工事を行います。

## ドック建造

組み上げたスーパーブロックは、1基で800トンの重量を持ち上げられる巨大な門型クレーン2基を用いてドックに移動し、溶接して船体を形作っていきます。大型船舶になると舵、スクリュプロペラなどさまざまな部品が、仰ぎ見るほどの大きさになります。門型クレーンは、一戸建て住宅ほどの大きさのあるエンジンや、さらに大きなLNGタンクの搭載作業などにも活躍します。



建造中のLNG運搬船

## この匠、この技術

優れた溶接技術で、品質とのシビアな戦いに挑む

船舶の建造ではほぼ全ての工程で溶接が必要とされると同時に、その出来栄が品質を大きく左右します。岡田氏は溶接技術に優れ、香川県や社内の技能競技会で鋼板の溶接部門で優秀な成績を収めています。同氏は、当社のLNG運搬船において、船体構造、アルミニウム合金製LNGタンク(※)、配管などにおける多様な溶接作業でその実力を遺憾なく発揮し、高品質な船舶の建造に貢献しています。



岡田 和也  
船舶海洋カンパニー  
坂出造船工場 工作部

※LNGタンクの材料であるアルミニウム合金の性質は鉄と大きく異なり、接合(溶接)には極めて繊細な作業が求められます。

## Column

### 建造中のドリルシップ

川崎重工が出資するブラジル・ENSEADA社(※)への技術協力の一環として、現在、坂出工場においてドリルシップ(海底掘削船)の船体部を建造しています。ドリルシップの建造は、同国近海での大規模な油田開発が進むなか、当社事業の海洋分野にとって重要なプロジェクトと位置付けています。完成後はENSEADA社に必要な機器の取り付け、調整作業後、国営石油会社・ペトロプラス社に引き渡す予定です。

※2010年6月、ブラジルの大手総合建設会社3社により各種海洋構造物、各種船舶の製造販売を目的に設立。2012年5月、当社が30%出資することを決定。



建造中のドリルシップ



完成イメージ図



### 回復基調の米国経済などを背景に 堅調な業績を確保

当第2四半期における世界経済は、ユーロ圏や新興国などの景気停滞や、地政学的緊張の高まりなどが懸念される一方、回復基調にある米国経済を中心に緩やかな成長が見込まれます。

また、国内経済では、消費増税の影響などから、個人消費の回復が鈍化しており、先行きがやや不透明な状況である一方、公共投資や雇用・所得環境の改善などに支えられ、次第に回復へ向かうと予測されますが、今後も為替変動や消費増税の動向には留意が必要です。

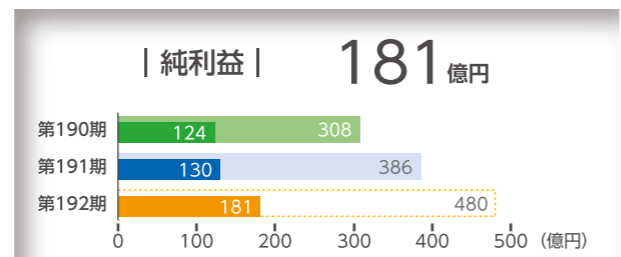
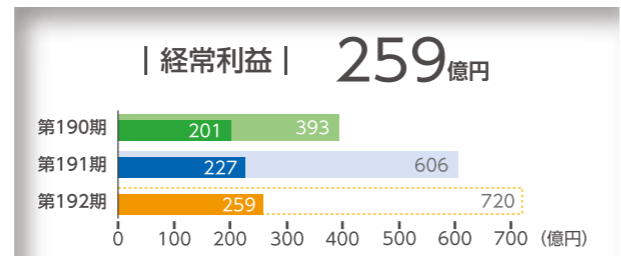
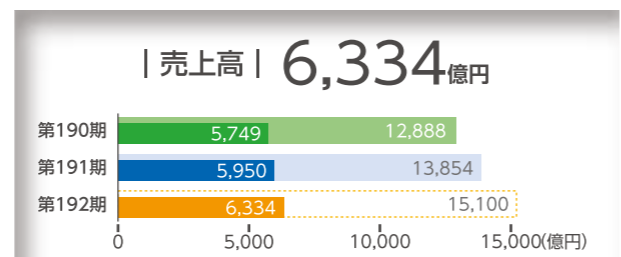
そうしたなか、当社グループの連結業績は、売上高では船舶海洋事業などでの減収を航空宇宙事業などでの大幅な増収が補い、全体では6,334億円と増収となりました。一方、営業利益では車両事業などでの減益を航空宇宙事業などの増益で補えず、全体では減益となりましたが、経常利益は為替差損の減少などで259億円、四半期純利益は税金費用の減少などで181億円となり、それぞれ前年同期を上回りました。

なお、通期予想につきましては、連結売上高1兆5,100億円、経常利益720億円、当期純利益480億円であり、その達成に全力を傾注します。

※業績予想などは、合理的と判断するデータに基づいて作成し、10月29日に開示したものであり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

#### 決算ハイライト(連結)

■ 第2四半期(累計) / ■ 通期 ※ 第192期通期は予想数値



■ 第2四半期(累計) / ■ 通期  
※ 第192期通期は予想数値

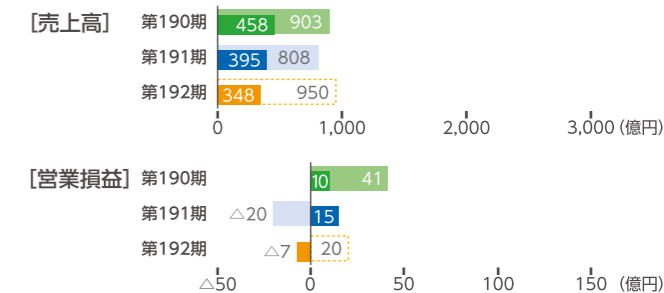
### 船舶海洋事業

ばら積み運搬船の売上減少等により減収減益

LNG運搬船の売上が増加したものの、ばら積み運搬船の売上減少などにより、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。



LPG運搬船「GALAXY RIVER」



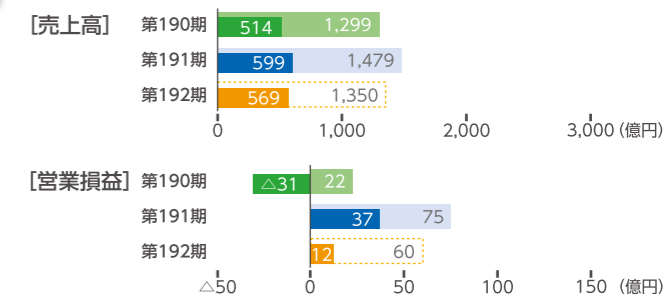
### 車両事業

海外向けの売上減少等により減収減益

北米やアジア向け売上の減少などにより、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。



箱根登山鉄道株式会社向け 3000形「アレグラ号」



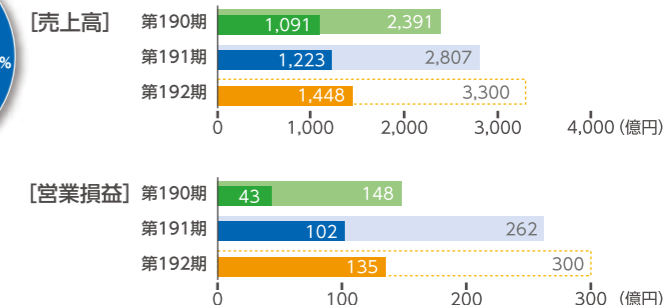
### 航空宇宙事業

ボーイング社向けの売上増加等により増収増益

ボーイング社向け787分担製造品の売上増加などにより、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。



川崎式BK117C-2型ヘリコプタ



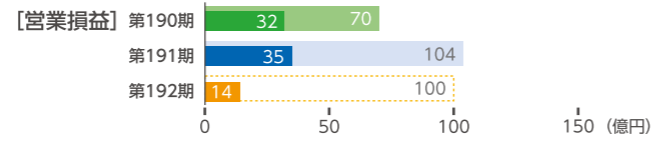
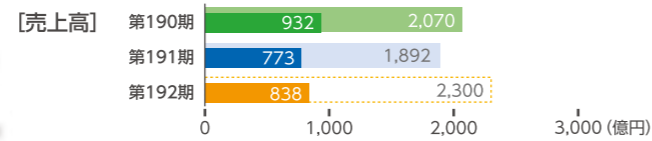
## ガスタービン・機械事業

水力機械の売上増加等があったものの減益

売上高は、水力機械の売上増加などにより前年同期を上回ったものの、営業利益は、研究開発費の増加などにより、前年同期を下回りました。



東レ バッテリーセパレーターフィルム(株)向け PUC17Dガスタービンコージェネレーション設備



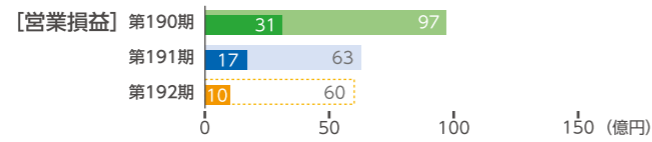
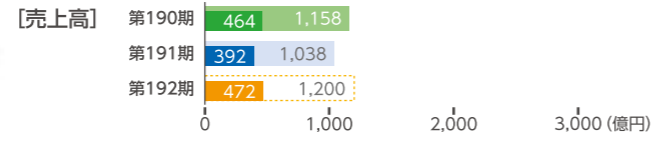
## プラント・環境事業

海外向け案件の売上増加等があったものの減益

売上高は、海外向け案件の売上増加などにより前年同期を上回ったものの、営業利益は、利益率の低下などにより、前年同期を下回りました。



トルクメニスタン向け マリ肥料プラント



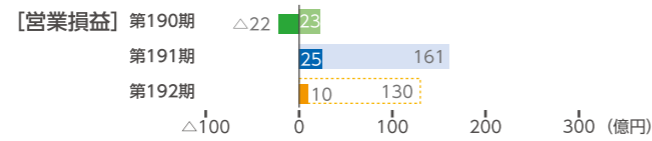
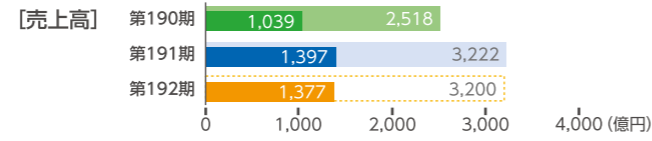
## モーターサイクル&エンジン事業

中南米向け二輪車の販売減少等により減収減益

インドネシアや欧州向け二輪車の売上が増加したものの、中南米向けやタイ向けなどが減少し、売上高、営業利益とも前年同期を下回りました。



Ninja 250SL(2014モデル)



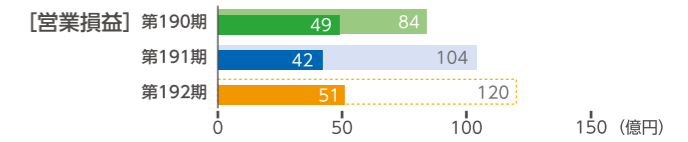
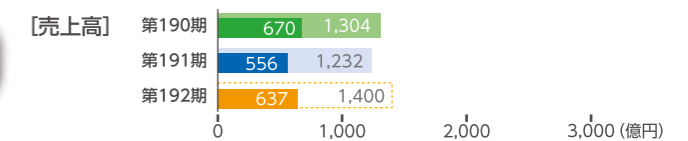
## 精密機械事業

自動車産業向けロボットの売上増加等により増収増益

自動車産業向けロボット、国内の建機市場向け油圧機器の売上増加などにより、売上高、営業利益とも前年同期を上回りました。



建設機械用油圧機器



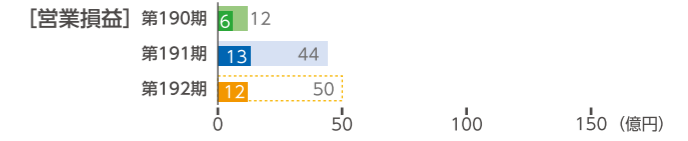
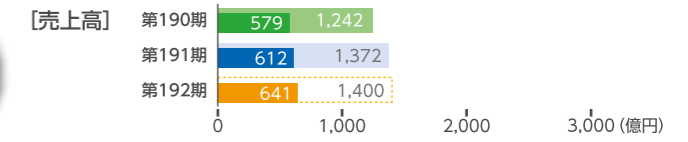
## その他事業

(建設機械の製造・販売、ビル等の管理、商業など)

売上高は、建設機械部門の売上増加などにより前年同期を上回ったものの、営業利益は前年同期を下回りました。



カワサキホイールローダ[115Z7]



## TOPICS / 「Kawasaki グリーン製品」適合性評価制度を創設

川崎重工グループは、2014年、環境配慮に特に優れた製品を「Kawasaki グリーン製品」として公表する制度を創設しました。これは、近年の環境配慮意識の高まりに応じて開始したもので、「低炭素社会・循環型社会・自然共生社会」の観点から、製品の環境性能向上と生産過程での環境負荷の低減を加速させる取り組みです。

また、持続的成長の視点から、環境や社会問題などに配慮している企業に重点投資をする手法が海外の投資家を中心に広がってきていることから、このような取り組みの重要性はますます高まっていくと考えています。

今後とも当社グループは、環境を主軸とした製品の競争力強化を図るとともに社会貢献に努めていきます。



2014年度「Kawasaki グリーン製品」として「グリーンガスエンジン」など10製品を選出。



# 第192期第2四半期(累計) 報告

## 連結財務諸表

### 第2四半期連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目		当第2四半期末	前期末
		平成26年9月30日現在	平成26年3月31日現在
資産の部	流動資産	1,061,255	1,005,754
	固定資産	569,730	548,675
	有形固定資産	401,304	383,912
	無形固定資産	16,824	17,262
	投資その他の資産	151,601	147,500
	資産合計	1,630,986	1,554,430
負債の部	流動負債	832,782	795,415
	固定負債	415,661	382,328
	負債合計	1,248,443	1,177,744
純資産の部	株主資本	379,637	376,284
	資本金	104,484	104,484
	資本剰余金	54,393	54,393
	利益剰余金	220,811	217,449
	自己株式	△ 51	△ 43
	その他の包括利益累計額	△ 11,443	△ 13,243
	その他有価証券 評価差額金	3,058	2,652
	繰延ヘッジ損益	△ 2,883	△ 3,803
	為替換算調整勘定	5,902	6,416
	退職給付に係る 調整累計額	△ 17,520	△ 18,509
	少数株主持分	14,348	13,645
	純資産合計	382,542	376,686
	負債純資産合計	1,630,986	1,554,430

### 第2四半期連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期累計期間	前年同期
	平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
売上高	633,422	595,077
売上原価	526,539	486,913
売上総利益	106,883	108,164
販売費及び一般管理費	83,693	81,323
営業利益	23,189	26,840
営業外収益	8,422	7,617
営業外費用	5,648	11,669
経常利益	25,963	22,788
税金等調整前四半期純利益	25,963	22,788
法人税等	6,511	8,777
少数株主損益調整前 四半期純利益	19,451	14,010
少数株主利益	1,266	1,008
四半期純利益	18,185	13,001

### 第2四半期連結包括利益計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期累計期間	前年同期
	平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益	19,451	14,010
その他の包括利益	1,730	15,938
その他有価証券評価差額金	429	1,231
繰延ヘッジ損益	959	△ 817
為替換算調整勘定	3,555	7,084
退職給付に係る調整額	802	320
持分法適用会社に対する 持分相当額	△ 4,016	8,119
四半期包括利益	21,181	29,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,985	28,181
少数株主に係る四半期包括利益	1,196	1,767

### 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期累計期間	前年同期
	平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 60,807	△ 45,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 29,707	△ 41,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,398	80,983
現金及び現金同等物の 四半期末残高	33,664	30,546

# 会社概要・株式の状況・大株主

### 会社概要 (平成26年9月30日現在)

創立	1896(明治29)年10月15日
資本金	104,484,658,872円
従業員	(単体) 15,564名
本社	(神戸) 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号 (東京) 東京都港区海岸1丁目14番5号

### 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

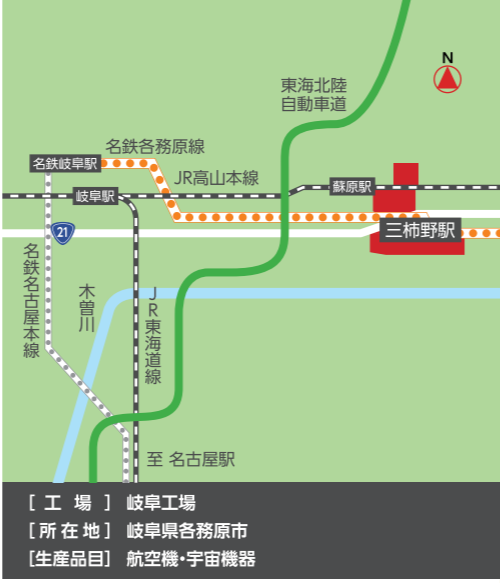
発行可能株式総数	3,360,000,000株
発行済株式総数	1,671,892,659株
株主総数	127,749名

### 大株主 (平成26年9月30日現在)

株主名	所有株式数	比率
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	81,234,000株	4.85%
株式会社みずほ銀行	59,207,773株	3.54%
日本生命保険相互会社	57,516,659株	3.44%
JFEスチール株式会社	56,174,400株	3.35%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	56,126,000株	3.35%
川崎重工共栄会	35,488,192株	2.12%
川崎重工工業従業員持株会	31,227,217株	1.86%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	30,577,999株	1.82%
東京海上日動火災保険株式会社	27,838,589株	1.66%
JP MORGAN CHASE BANK 380055	27,184,020株	1.62%



本応募券を切り取り、郵便はがきに貼り付けのうえご応募ください。



【工場】岐阜工場  
【所在地】岐阜県各務原市  
【生産品目】航空機・宇宙機器

## 応募要項

### ■対象者

2014年9月30日現在、当社株式1,000株以上をご所有の株主様ご本人(ご同伴者様1名まで可)  
※12歳未満の方のご見学には、必ず成人の方が同行してください。

### ■参加費

無料  
(但し、集合・解散場所(名古屋鉄道(名鉄)各務原線 三柿野駅を予定)までの往復交通費は株主様のご負担とさせていただきます。また、昼食のご用意はしておりませんのでご了承ください。)

### ■締切日 2014年12月26日(金) [必着]

### ■ご応募前の確認事項

- ご応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。厳正な抽選のうえ、結果はご応募いただいた株主様全員に、2015年2月上旬頃に郵送にてお知らせいたします。
- ご応募の際に、記載事項に漏れなどの不備がございます場合、無効とさせていただきます。ご了承ください。
- ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施するうえで必要な限りにおいてのみ使用いたします。
- ご見学時は1時間程度(予定)の徒歩移動、バスの乗り降り及び階段の昇り降りがございますので、あらかじめご了承ください。
- ご見学時は写真・ビデオ撮影はお断りさせていただいておりますので、あらかじめご了承ください。
- 株主様と、ご記載されたご同伴者様のみ参加できます。なお、当日は別のご同伴者様がお越しいただいても、手続きの関係上、ご見学いただけませんのであらかじめご了承ください。
- 当日は集合・解散場所(名鉄各務原線 三柿野駅を予定)の周辺には当社が用意している駐車場がございませんので、公共交通機関でお越しください。また、工場へ直接ご来場いただけませんので、ご注意ください。

### ■応募方法

参加を希望される日時を下表の申込番号(①~④)からひとつだけお選びいただき、下記のとおり郵便はがきに、本ページ右上の応募券を貼り付け、必要事項を記入のうえ、ご応募ください。(郵送料につきましては株主様にてご負担くださいますようお願い申し上げます。)

申込番号	日程	時間
①	2015年3月10日(火)	9時より約3時間(予定)
②	2015年3月10日(火)	14時より約3時間(予定)
③	2015年3月11日(水)	9時より約3時間(予定)
④	2015年3月11日(水)	14時より約3時間(予定)

定員は各40名(同伴者を含みます。)

※株主番号掲載箇所  
本紙と一緒に同封している「送付票」に株主番号が記載されています。



# 今回の工場見学会は 岐阜工場です!

川崎重工では、株主の皆様によりいっそう当社への理解を深めていただくことを目的に、2013年の3月から工場見学会を実施しております。このたび、第5回目となる工場見学会は岐阜工場で開催いたしますので、本案内をご覧くださいのうえ、この機会にぜひご応募ください。

**見学場所** 当工場は幅広い分野の航空機、宇宙機器を製造しております。見学会では、普段見ることのできない、高度な技術を駆使する舞台裏をご案内します。



P-1固定翼哨戒機



ボーイング777胴体パネル



BK117型ヘリコプタ

**お問い合わせ先**  
(工場見学会専用)  
川崎重工(株)株主名簿管理人  
三井住友信託銀行(株)証券代行部  
☎03-6743-3220  
営業時間 9時~17時(土・日・祝日を除く)

裏面  
A株主番号(9桁)  
Bご希望の申込番号  
C株主様  
①お名前(ふりがな)  
②郵便番号  
③ご住所  
④性別  
⑤年齢  
⑥電話番号  
Dご同伴者様(1名まで)  
株主様の必要記載事項  
(①~⑥)と同様に記載

あて名面  
郵便はがき  
1688799  
三井住友信託銀行 証券代行部  
川崎重工  
工場見学会係